

## 平成6年度実施の1分間タイムスタディの概要

目的：要介護の高齢者に対して、心身の状況別に、どのようなケアが提供されているのかを数量的に把握する。

実施期間：平成7年2月～3月

対象施設：介護力強化病院（19施設）、老人保健施設（17施設）、特別養護老人ホーム（15施設）計51施設  
なお、対象施設の選定に当たっては、各団体の推薦に依った。

対象職員：職種別；看護婦（611名）、理学療法士・作業療法士（252名）、介護福祉士・社会福祉士（439名）、その他（1,074名）計2,376名  
施設別；介護力強化病院（1,161名）、老人保健施設（594名）、特別養護老人ホーム（621名）計2,376名

対象者：介護力強化病院（1,171名）、老人保健施設（1,170名）、特別養護老人ホーム（1,102名）計3,443名  
年齢：80.90±8.32歳 男女比：27.2/72.8

調査内容：ケアコードによる業務量調査、職員の身体的負担度・精神的負担感に関する調査、障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準による調査、痴呆性老人の日常生活自立度判定基準による調査、高齢入院（所）者の状態に関する調査及び居住環境に関する調査、医療・看護・介護職員の業務量、業務内容についての調査

[業務量調査]

調査方法：他計式

記録者：サービス提供者と同職種の者（1対1）

調査票処理：コードチェッカー200名を養成し、精査・転記

ケアコード：4項目 312コード

- 1 身の回りの世話 182コード（清潔・整容、更衣、入浴、排泄、食事・栄養・補液、起居と体位変換、移乗、移動（施設内）、身体機能の維持・増進、問題行動、巡視・観察・測定、コミュニケーション、入退院（所）・外出、寝具・リネン、環境、入院（所）者の物品管理、洗濯、その他の見守り）
- 2 投薬・処置 34コード（薬剤、処置、測定、検査、診療援助、感染予防、死後の処置、特殊な医療的ケア）
- 3 機能訓練 69コード（身体機能の評価、身体機能の訓練、基本動作、日常生活動作、物理療法、運動療法、高次機能などの評価、言語療法、作業療法、その他の理学・作業・言語療法関連）
- 4 行事、連絡、報告、会議、研修など 27コード（行事・クラブ活動、連絡・報告・情報収集、ケア関連会議・記録、勤務関連、設備・備品の保守・管理、屋内の整理・清掃、研修・指導、夜勤時の対応、職員の行動）

[状態像に関する調査]

調査項目（89項目）：

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| ○ 性、年齢、体重         | ○ 起居（8項目）   |
| ○ 入院（所）時のようす（3項目） | ○ 移動、移乗     |
| ○ 疾病の種類（9項目）      | ○ 食事（4項目）   |
| ○ 障害の状態（3項目）      | ○ 更衣（4項目）   |
| ○ 皮膚の状態（3項目）      | ○ 整容（6項目）   |
| ○ 聴力、視力           | ○ 排泄（7項目）   |
| ○ 会話、口頭指示         | ○ 入浴（3項目）   |
| ○ 精神状態（6項目）       | ○ 社会生活（3項目） |
| ○ 問題行動（21項目）      |             |

\* 上記の項目の数は、現在の要介護認定の基礎調査における項目の数え方と異なる。

（例）麻痺を基礎調査では5項目と数えるが、ここでは1項目と数えた。